

## 佐久地域の高校の将来像を考える地域の協議会への意見提出

●意見聴取日： 令和元年 11 月 11 日（月）

●聴取対象： 佐久地域の市町村長

●意見内容：

（立科町長）

- ・中山間地存立校に位置付けられる蓼科高校について、県教委に対し、高校の存続はもとより、学級数 3 クラスの保持についても強く要請している。
- ・中山間地域内、旧第 6 通学区内の議論だけでなく、近接する他の通学区からの通学なども幅広い検討が必要。

（小諸市長）

- ・小諸市内の 2 つの高校について、あり方の協議が進んでいることから、その内容が今年度内の県の再編案へ登載できるよう、是非佐久地域の協議会の協議をスピード感を持って進めてほしい。
- ・他地区に行かずとも地区内の公立校において十分な進学が可能であるとか、都市部存立校と中山間地存立校とが役割や特徴を分担しているとか、中学生の将来に多様な選択肢が提示されることが重要と考える。